

定期監査報告書

1. 監査の期日

令和2年1月20日・21日

2. 監査の対象

黒石市国民健康保険黒石病院事業会計

黒石市水道事業会計

黒石市下水道事業会計

3. 監査の方法

令和元年度において執行された事務事業に関し、あらかじめ監査資料の提出を求め、さらに関係帳簿類に基づいて関係者から説明を聴取したほか、例月出納検査の結果も参考にして実施した。

4. 監査の要点

(1) 予算の執行状況について

ア 事務事業は計画的に行われ、かつ効率的に運営されているか。

イ 不経済及び不適正な支出が行われていないか。

ウ 事業計画の進捗状況はどうなっているか。

エ 諸契約事務処理は適正に行われているか。

(2) 財産の保全管理について

ア 各台帳の整備は適正であるか。

イ 良好な状態で維持管理されているか。

5. 監査の結果

予算執行に伴う事務処理及び事業の管理運営については、全般にわたって適正に処理され、財産及び施設の管理面においても良好であると認めた。

なお、監査時における各事務処理に関する軽微な指摘事項については省略する。

監査結果の詳細は次のとおりである。

《黒石市国民健康保険黒石病院事業会計》

1. 事業概況

項 目		令和元年度	平成 30 年度	増 減	
病 床 数		257 床	257 床	0 床	
予 定 患 者 数	入 院	患者数	67,893 人	69,350 人	△1,457 人
		1日平均	186 人	190 人	△4 人
	外 来	患者数	137,295 人	141,520 人	△4,225 人
		1日平均	565 人	580 人	△15 人
	計	患者数	205,188 人	210,870 人	△5,682 人
		1日平均	751 人	770 人	△19 人
項 目		令和元年 11 月末日現在	平成 30 年 11 月末日現在	増 減	
実 績 患 者 数	入 院	患者数	44,353 人	41,788 人	2,565 人
		1日平均	182 人	171 人	11 人
	外 来	患者数	84,331 人	86,609 人	△2,278 人
		1日平均	521 人	519 人	2 人
	計	患者数	128,684 人	128,397 人	287 人
		1日平均	702 人	690 人	12 人
病 床 利 用 率		70.7%	66.6%	4.1 點	
患者1人1日当り医業収益		20,767 円	20,510 円	257 円	
患者1人1日当り医業費用		22,035 円	22,282 円	△247 円	
職 員 数	医 師		17 人	17 人	0 人
	看 護 師		156 人	159 人	△3 人
	医 療 技 術		43 人	41 人	2 人
	事 務		16 人	15 人	1 人
	計		232 人	(定数 260 人) 232 人	0 人

令和元年 11 月末日現在では、予定患者総数 205,188 人に対して実績患者総数は 62.7%の 128,684 人で、前年同期実績患者総数 128,397 人を 287 人上回っている。

実績患者数の内訳は、入院患者数が 44,353 人（前年同期 41,788 人）で 2,565 人増、外来患者数は 84,331 人（前年同期 86,609 人）で 2,278 人減となっている。

病床利用率は 70.7%（前年同期 66.6%）で、入院患者数の増により 4.1 ポイント増となっている。

また、患者 1 人 1 日当りの医業収益は 20,767 円（前年同期 20,510 円）で、同医業費用 22,035 円（前年同期 22,282 円）を 1,268 円下回っている。

2. 予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出（含消費税）

（単位 円・％）

科目 \ 区分	年間計画	令和元年11月末日 現在実績	予算執行率
収益計	4,633,860,000	2,822,378,600	60.9
医業収益	4,396,037,000	2,672,365,350	60.8
医業外収益	224,008,000	138,873,812	62.0
特別利益	13,815,000	11,139,438	80.6
費用計	4,868,961,000	2,856,287,896	58.7
医業費用	4,586,119,000	2,835,506,255	61.8
医業外費用	187,029,000	20,781,641	11.1
特別損失	95,813,000	0	0.0

(2) 資本的収入及び支出（含消費税）

（単位 円・％）

科目 \ 区分	年間計画	令和元年11月末日 現在実績	予算執行率
資本的収入	490,933,000	461,333,000	94.0
負担金	461,333,000	461,333,000	100.0
企業債	29,600,000	0	0.0
資本的支出	490,933,000	215,728,100	43.9
建設改良費	125,878,000	60,155,288	47.8
企業債償還金	364,575,000	155,572,872	42.7
貸付金	480,000	0	0.0

予算執行状況は上記のとおりである。

事務処理は効率性を考慮しながら適正に執行されていると認めた。

3. 財務内容

(単位 円)

区 分	令和元年 11 月末日現在	平成 31 年 4 月 1 日期首	増 減
資 産	5,100,027,909	5,035,667,543	64,360,366
負 債	6,461,233,381	6,316,919,204	144,314,177
資 本	△1,361,205,472	△1,281,251,661	△79,953,811

財務内容は上記のとおりである。

(1) 固定資産について

固定資産台帳に基づいて調査した結果、良好な状態で維持管理されていると認めた。

(2) 契約事務について

諸契約に係る書類を調査した結果、おおむね適正に事務処理されていると認めたが、関係書類に若干の不備が散見された。

(3) 過年度医業未収金について

令和元年 11 月末日現在の過年度医業未収金残高は、入院が 313 件 24,679,945 円、外来が 739 件 3,421,024 円、計 1,052 件 28,100,969 円となっている。

4. 総 括

予算執行に伴う事務処理及び事業の管理運営については、全般にわたって適正に処理されているものと認めた。

事業概況でみると、前年同期比で入院患者数が2,565人（6.1%）増、外来患者数が2,278人（2.6%）減、病床利用率は4.1ポイント増となっている。

事業収支については、「【参考資料】収益的収支比較表（除消費税）」に示されているとおり、病院事業収益は2,818,271,634円で前年同期比47,415,021円（1.7%）の増となっており、内訳は、医業収益が38,660,714円（1.5%）増の2,668,645,834円、医業外収益が10,739,873円（8.4%）増の138,486,362円である。医業収益のうち入院収益は94,753,329円（5.2%）の増、外来収益は57,098,907円（7.6%）の減となっている。

病院事業費用は2,899,248,662円で前年同期比27,546,922円（0.9%）の減となっており、内訳は、医業費用が28,314,315円（1.0%）減の2,792,788,914円、医業外費用が767,393円（0.7%）増の106,459,748円である。

収支差引では、前年同期155,938,971円の赤字に対し、74,961,943円（48.1%）減の80,977,028円の赤字となっている。

【参考資料】

収益の収支比較表（除消費税）

（単位 円）

科 目	区 分	令和元年 11 月末日現在	平成 30 年 11 月末日現在	増 減
病院事業収益		2,818,271,634	2,770,856,613	47,415,021
	医業収益	2,668,645,834	2,629,985,120	38,660,714
	入院収益	1,905,126,949	1,810,373,620	94,753,329
	外来収益	696,408,216	753,507,123	△57,098,907
	その他医業収益	67,110,669	66,104,377	1,006,292
	医業外収益	138,486,362	127,746,489	10,739,873
	受取利息・配当金	0	0	0
	他会計負担金	38,667,000	32,092,000	6,575,000
	その他医業外収益	99,819,362	95,654,489	4,164,873
	特別利益	11,139,438	13,125,004	△1,985,566
病院事業費用		2,899,248,662	2,926,795,584	△27,546,922
	医業費用	2,792,788,914	2,821,103,229	△28,314,315
	給与費	1,561,220,694	1,537,748,534	23,472,160
	材料費	451,461,708	491,185,173	△39,723,465
	経費	639,279,272	641,525,053	△2,245,781
	運営委員会費	17,186	20,912	△3,726
	減価償却費	129,527,500	135,858,456	△6,330,956
	資産減耗費	3,489,277	7,175,417	△3,686,140
	研究研修費	7,793,277	7,589,684	203,593
	医業外費用	106,459,748	105,692,355	767,393
	企業債利子	7,235,167	8,283,677	△1,048,510
	一時借入金利子	1,300,764	1,104,116	196,648
	リース資産利息	7,214,166	7,343,294	△129,128
	長期前払消費税勘定償却	3,431,314	4,366,727	△935,413
	雑支出	87,278,337	84,594,541	2,683,796
	特別損失	0	0	0
収 支 差 引		△80,977,028	△155,938,971	74,961,943

《黒石市水道事業会計》

1. 事業概況

項 目		令和元年度	平成30年度	増 減
業務 予 定 量	給 水 戸 数	10,370 戸	10,330 戸	40 戸
	年間総給水量	2,662,700 m ³	2,643,200 m ³	19,500 m ³
	1日平均給水量	7,275 m ³	7,242 m ³	33 m ³
項 目		令和元年11月末日現在	平成30年11月末日現在	増 減
実 績 量	給 水 戸 数	10,627 戸	10,579 戸	48 戸
	給 水 量	1,614,582 m ³	1,702,872 m ³	△88,290 m ³
	1日平均給水量	6,617 m ³	6,979 m ³	△362 m ³
	有 収 水 量	1,486,692 m ³	1,495,296 m ³	△8,604 m ³
	有 収 率	92.1%	87.8%	4.3 点増
	供 給 単 価	320 円	320 円	0 円
	給 水 原 価	203 円	207 円	△4 円
職 員 数	事 務	5 人	5 人	0 人
	技 術	3 人	3 人	0 人
	計	(定数14人) 8人	(定数14人) 8人	0人

令和元年11月末日現在の実績量は、業務予定量に対して給水戸数が102.5%の10,627戸、給水量が60.6%の1,614,582m³、1日平均給水量が91.0%の6,617m³となっている。

実績量を前年同期と比べると、給水戸数48戸(0.5%)増、給水量88,290m³(5.2%)減、1日平均給水量362m³(5.2%)減、有収水量8,604m³(0.6%)減、有収率4.3ポイント増となっている。

また、供給単価は変動なし、給水原価は4円減となっている。

2. 予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出 (含消費税)

(単位 円・%)

科目 \ 区分	年間計画	令和元年11月末日 現在実績	予算執行率
収益計	807,474,000	531,027,482	65.8
営業収益	765,833,000	521,599,743	68.1
営業外収益	41,640,000	9,425,886	22.6
特別利益	1,000	1,853	185.3
費用計	734,078,000	321,886,268	43.8
営業費用	663,882,000	304,409,085	45.9
営業外費用	59,195,000	17,316,033	29.3
特別損失	5,001,000	161,150	3.2
予備費	6,000,000	0	0.0

(2) 資本的収入及び支出 (含消費税)

(単位 円・%)

科目 \ 区分	年間計画	令和元年11月末日 現在実績	予算執行率
資本的収入	159,998,000	0	0.0
企業債	123,200,000	0	0.0
補助金	25,198,000	0	0.0
負担金	11,600,000	0	0.0
資本的支出	344,453,000	86,997,516	25.3
建設改良費	191,943,000	11,292,666	5.9
企業債償還金	152,510,000	75,704,850	49.6
国庫補助金精算金	0	0	0.0

予算執行状況は上記のとおりである。

事務処理は効率性を考慮しながら適正に執行されていると認めた。

3. 財務内容

(単位 円)

区 分	令和元年 11 月末日現在	平成 31 年 4 月 1 日期首	増 減
資 産	4,878,914,880	4,728,764,919	150,149,961
負 債	2,533,276,863	2,572,457,574	△39,180,711
資 本	2,345,638,017	2,156,307,345	189,330,672

財務内容は上記のとおりである。

(1) 固定資産について

固定資産台帳に基づいて調査した結果、良好な状態で維持管理されていると認めた。

(2) 契約事務について

諸契約に係る書類を調査した結果、適正に事務処理されていると認めた。

(3) 過年度営業未収金について

令和元年 11 月末日現在の過年度営業未収金残高は、865 件 4,983,984 円となっている。

4. 総 括

予算執行に伴う事務処理及び事業の管理運営については、全般にわたって適正に処理されているものと認めた。

事業概況でみると、前年同期比で給水戸数が 48 戸(0.5%)増の 10,627 戸、給水量が 88,290 m³(5.2%)減の 1,614,582 m³、有収水量が 8,604 m³(0.6%)減の 1,486,692 m³で、有収率は 4.3 ポイント増の 92.1%となっている。

事業収支については、「【参考資料】収益的収支比較表(除消費税)」に示されているとおり、水道事業収益は 490,635,203 円で前年同期比 2,914,699 円(0.6%)の減となっており、内訳は、営業収益が 2,622,945 円(0.5%)減の 481,932,803 円、営業外収益が 293,607 円(3.3%)減の 8,700,547 円、特別利益が 1,853 円(皆増)増の 1,853 円である。

水道事業費用は 301,304,531 円で前年同期比 7,919,767 円(2.6%)の減となっており、内訳は、営業費用が 5,655,415 円(2.0%)減の 283,839,282 円、営業外費用が 2,215,637 円(11.3%)減の 17,316,033 円、特別損失が 48,715 円(24.6%)減の 149,216 円である。

収支差引では、前年同期 184,325,604 円の黒字に対し、5,005,068 円(2.7%)増の 189,330,672 円の黒字となっている。

【参考資料】

収益的収支比較表（除消費税）

（単位 円）

科 目	区 分	令和元年11月末日現在	平成30年11月末日現在	増 減
水道事業収益		490,635,203	493,549,902	△2,914,699
営業収益		481,932,803	484,555,748	△2,622,945
給水収益		476,011,943	478,885,748	△2,873,805
受託工事収益		31,020	0	31,020
その他営業収益		1,167,000	1,023,000	144,000
受託料		4,722,840	4,647,000	75,840
営業外収益		8,700,547	8,994,154	△293,607
受取利息及び配当金		0	0	0
受託工事収益		0	0	0
加入金		7,400,000	7,700,000	△300,000
雑収益		1,300,547	1,294,154	6,393
特別利益		1,853	0	1,853
水道事業費用		301,304,531	309,224,298	△7,919,767
営業費用		283,839,282	289,494,697	△5,655,415
原水及び浄水費		189,229,524	190,419,659	△1,190,135
配水及び給水費		59,434,688	63,788,235	△4,353,547
受託工事費		0	0	0
総係費		35,157,329	35,260,789	△103,460
審議会費		17,741	26,014	△8,273
その他営業費用		0	0	0
営業外費用		17,316,033	19,531,670	△2,215,637
支払利息		17,293,862	19,508,939	△2,215,077
受託工事費		0	0	0
雑支出		22,171	22,731	△560
特別損失		149,216	197,931	△48,715
過年度損益修正損		149,216	197,931	△48,715
収支差引		189,330,672	184,325,604	5,005,068

《黒石市下水道事業会計》

1. 事業概況

項 目		令和元年度	平成 30 年度	増 減
業務 予定 量	排 水 戸 数	6,460 戸	6,420 戸	40 戸
	年 間 総 排 水 量	1,465,000 m ³	1,465,000 m ³	0 m ³
	1 日 平 均 排 水 量	4,003 m ³	4,014 m ³	△11 m ³
項 目		令和元年 11 月末日現在	平成 30 年 11 月末日現在	増 減
実 績 量	行 政 区 域 内 人 口	33,120 人	33,561 人	△441 人
	処 理 区 域 内 人 口	21,408 人	21,358 人	50 人
	排 水 戸 数	6,584 戸	6,516 戸	68 戸
	普 及 率	64.6%	63.6%	1.0 ㊦
	水 洗 便 所 設 置 済 人 口	20,039 人	19,836 人	203 人
	水 洗 化 率	93.6%	92.9%	0.7 ㊦
	総 流 入 水 量	1,216,820 m ³	1,225,003 m ³	△8,183 m ³
	総 排 水 (有 収) 量	1,001,442 m ³	1,003,277 m ³	△1,835 m ³
	1 日 平 均 排 水 (有 収) 量	4,104 m ³	4,112 m ³	△8 m ³
	有 収 率	82.3%	81.9%	0.4 ㊦
	使 用 料 単 価	217 円	218 円	△1 円
職 員 数	事 務	2 人	2 人	0 人
	技 術	2 人	2 人	0 人
	計	(定数 8 人) 4 人	(定数 8 人) 4 人	0 人

令和元年11月末日現在の実績量は、業務予定量に対して排水戸数が101.9%の6,584戸、総排水(有収)量が68.4%の1,001,442m³、1日平均排水(有収)量が102.5%の4,104m³となっている。

実績量を前年同期と比べると、排水戸数68戸(1.0%)増、総排水(有収)量1,835m³(0.2%)減、1日平均排水(有収)量8m³(0.2%)減、有収率0.4ポイント増となっている。

2. 予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出（含消費税）

（単位 円・％）

科目	区分	年間計画	令和元年11月末日 現在実績	予算執行率
収益計		733,077,000	235,961,689	32.2
営業収益		347,673,000	235,902,418	67.9
営業外収益		301,338,000	0	0.0
特別利益		84,066,000	59,271	0.1
費用計		612,523,000	160,279,001	26.2
営業費用		492,856,000	113,455,160	23.0
営業外費用		112,706,000	44,954,714	39.9
特別損失		2,961,000	1,869,127	63.1
予備費		4,000,000	0	0.0

(2) 資本的収入及び支出（含消費税）

（単位 円・％）

科目	区分	年間計画	令和元年11月末日 現在実績	予算執行率
資本的収入		638,890,000	5,445,565	0.9
企業債		339,600,000	0	0.0
補助金		291,569,000	0	0.0
負担金		7,721,000	5,445,565	70.5
資本的支出		743,937,000	335,149,736	45.1
建設改良費		106,043,000	17,582,717	16.6
企業債償還金		637,894,000	317,567,019	49.8

予算執行状況は上記のとおりである。

事務処理は効率性を考慮しながら適正に執行されていると認めた。

3. 財務内容

(単位 円)

区 分	令和元年11月末日現在	平成31年4月1日期首	増 減
資 産	9,962,553,643	9,810,984,959	151,568,684
負 債	11,213,224,677	11,133,627,668	79,597,009
資 本	△1,250,671,034	△1,322,642,709	71,971,675

財務内容は上記のとおりである。

(1) 固定資産について

固定資産台帳に基づいて調査した結果、良好な状態で維持管理されていると認めた。

(2) 契約事務について

諸契約に係る書類を調査した結果、適正に事務処理されていると認めた。

(3) 過年度営業未収金について

令和元年 11 月末日現在の過年度営業未収金残高は、下水道使用料が 1,399 件 4,742,086 円、受益者負担金が 40 件 283,020 円で、計 1,439 件 5,025,106 円となっている。

4. 総 括

予算執行に伴う事務処理及び事業の管理運営については、全般にわたって適正に処理されているものと認めた。

事業概況でみると、前年同期比で排水戸数が 68 戸 (1.0%) 増の 6,584 戸、総排水 (有収) 量が 1,835 m³ (0.2%) 減の 1,001,442 m³ で、有収率は 0.4 ポイント増の 82.3% となっている。

事業収支については、「【参考資料】収益的収支比較表 (除消費税)」に示されているとおり、下水道事業収益は 218,009,220 円で前年同期比 6,073,894 円 (2.7%) の減となっており、内訳は、営業収益が 711,036 円 (0.3%) 減の 217,953,914 円、営業外収益が 12,700 円 (100.0%) 減、特別利益が 5,350,158 円 (99.0%) 減の 55,306 円である。

下水道事業費用は 151,483,110 円で前年同期比 3,041,087 円 (2.0%) の減となっており、内訳は、営業費用が 2,106,103 円 (2.1%) 増の 104,797,718 円、営業外費用が 6,735,120 円 (13.0%) 減の 44,954,714 円、特別損失が 1,587,930 円 (1,112.4%) 増の 1,730,678 円である。

収支差引では、前年同期 69,558,917 円の黒字に対し、3,032,807 円 (4.4%) 減の 66,526,110 円の黒字となっている。

【参考資料】

収益的収支比較表（除消費税）

（単位 円）

科 目	区 分	令和元年11月末日現在	平成30年11月末日現在	増 減
下水道事業収益		218,009,220	224,083,114	△6,073,894
営業収益		217,953,914	218,664,950	△711,036
下水道使用料		217,713,454	218,414,790	△701,336
受託事業収益		0	0	0
その他営業収益		240,460	250,160	△9,700
営業外収益		0	12,700	△12,700
受取利息及び配当金		0	0	0
他会計補助金		0	0	0
雑収益		0	12,700	△12,700
その他営業外収益		0	0	0
特別利益		55,306	5,405,464	△5,350,158
下水道事業費用		151,483,110	154,524,197	△3,041,087
営業費用		104,797,718	102,691,615	2,106,103
管渠費		10,169,974	5,913,825	4,256,149
ポンプ場費		4,773,244	5,459,834	△686,590
排水設備指導費		2,866,835	2,782,205	84,630
水洗化促進費		10,056	12,112	△2,056
総係費		18,602,440	15,353,414	3,249,026
その他営業費用		68,375,169	73,170,225	△4,795,056
営業外費用		44,954,714	51,689,834	△6,735,120
支払利息		44,929,636	51,665,022	△6,735,386
雑支出		25,078	24,812	266
特別損失		1,730,678	142,748	1,587,930
過年度損益修正損		1,730,678	142,748	1,587,930
その他特別損失		0	0	0
収支差引		66,526,110	69,558,917	△3,032,807